

## 50%...北朝鮮、イラン情勢を注視

日本経済新聞 2018/5/24 付



川上高司・拓殖大海外事情研究所長 少なくとも3つの外交的な要素が複雑に絡み合う。核放棄の具体的な方式を巡る米朝間の水面下での交渉に加え、貿易を巡る米中間の交渉、イラン問題の行方だ。北朝鮮にとって最良の取引は**2015**年のイラン核合意のような段階的な核放棄だが、米国は**21**日に新たな対イラン戦略を発表した。北朝鮮はイランがどうなるのかを注視しているだろう。

**11**月の中間選挙に向け支持率をどう上げるかという米国の国内問題もあり、会談時期を引っ張ることもあり得る。北朝鮮にとってハードルの高いシンガポールからの場所の変更も考えられる。